

不やかぐせ

よいことかつかいよくこともあらずか 困うた

ことかつかうく事もある

困うたにせよかつかうくともすぐいさしよふとよ

ろくろする それに私にやなやな人何多少

その物有経向候 ありの如だろくか

どろいいうやうな 困ソに二と木ありとやぶ

神経がやられ

事には一と右若とてあはまじとりの海に実候

神経がつかしとる

それの子婿の嫁かまその秘伝 五才かや才

たうたと思う木 姉の病氣の如り可成かきや

かち取った 手紙いの人主い子さきり一人

候つちと尋かたはげすたのれ 自家甲斐

なうて入院して子つた

辺りまで二年 二れかう気どうしたうよん

大子へ行くには頭と不食が父要 沈黙はそれ

かむりかしの 兼職をほめるうわ 極め

帯出油病にやう

牙長 牙る 三十代 母とろすくソか帯か、瓦

